

埼玉県立毛呂山特別支援学校

令和7年度 学校案内



©毛呂山特支

もろにゃん

1 本校の教育

本校は、知的障害のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成3年4月1日に設置され、今年で35年目を迎えました。小学部、中学部、高等部が設置されており、今年度は全校で202名（4月1日現在）の児童生徒が学んでいます。

学習面では、個々の児童生徒の実態に応じた「国語」や「算数(数学)」などの教科のほか、教科や領域を合わせた「生活単元学習」、「日常生活の指導」や将来の進路を目指しての「作業学習」があります。また、児童生徒一人一人に目を向け、子どもが持つ中心的な課題を探り、その改善・解決を図るとともに「合理的配慮」の観点に基づいたプログラム（個別の指導計画）を作成し、個々のニーズに対応した教育活動を行っています。

その他、近隣の小・中・高等学校との交流教育や、様々な行事に係る生徒会を中心とした集会活動に取り組んでいます。また、埼玉県特別支援学校スポーツ大会への参加や地域の文化的イベントにも積極的に参加しています。

特別支援学校は地域における特別支援教育のセンター

学校教育法第74条・学習指導要領等



毛呂山特別支援学校

最初の相談窓口



地域の皆さん

地域の学校等

- 各学校の教職員への支援機能
- 各学校の教職員に対する研修協力機能
- 特別支援教育に関する相談・情報提供機能
- 個別の指導計画の作成等への助言など、児童等への指導・支援機能
- 教育、医療、保健、福祉、労働等との連絡・調整機能
- 児童等への施設設備等の提供機能

教員相談は随時行っております。
お電話にてお申込みください。

※ お子様の生活、学習、就学、進路など気になることがございましたら、ご連絡ください。

2 学部目標

◇小学部の目標

- ① 基本的な生活習慣を身につけられるようにする。
- ② 健康や安全に気をつけ、丈夫な体を作る。
- ③ 物事を認識する力や感覚を身につけるとともに、豊かな心を育む。
- ④ 集団生活に楽しく参加し、みんなと一緒に活動できる力を身につける。
- ⑤ 学校生活全般を通して、自分の役割を果たし、自己肯定感を育てる。

◇中学部の目標

- ① 基本的な生活習慣の確立を目指す。
- ② いろいろな活動を通して、健康の保持増進と体力の向上を目指す。
- ③ 興味関心を深め、認識力を高めるとともに豊かな感情を育む。
- ④ 人との関わりを広め、友だちと一緒に取り組む力を伸ばす。
- ⑤ 作業学習を通して、働くことへの興味関心を高める。

◇高等部の目標

- ① 基本的な生活習慣を確立し、自立した生活をおくるために必要な力を育む。
- ② 健康でバランスのとれた身体づくりと基礎体力の向上を目指す。
- ③ 認識力を高め、自分で考えようとする意欲と物事に感動する心を育む。
- ④ 友だちや集団との関わりを豊かにするとともに、互いに尊重しあい協力できる力をつける。
- ⑤ 労働意欲を高めるとともに、卒業後の進路を考える。

令和7年度 研究の取組

全校研究テーマ

「個に応じた指導・支援の充実」
～自立活動について考える～

(3年目)



令和7年度 毛呂山特別支援学校 グランドデザイン

学校教育目標

明るく 仲よく たくましく



目指す学校像

一人一人を大切に、専門性の高い、児童生徒・保護者・地域と共に生きる、開かれた信頼される学校

学校・地域の概要

開校35年目の主に知的障害のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。

学区: 2市 3町

毛呂山町 坂戸市 鶴ヶ島市

越生町 鳩山町

児童生徒数: 202名(令和7年4月1日現在)

教員数: 103名

スクールバス: 7便

学校自己評価システムの活用

○学校自己評価システムシートの活用による学校運営の活性化

○保護者による学校評価アンケートにより保護者のニーズを把握し、学校運営・指導の充実を図る

重点的目標

児童生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実

- 児童生徒の人権を大切にする指導の充実を図る。
- 一人一人の障害特性を理解し、障害特性に応じた指導内容の充実と学習環境の整備を行う。
- 児童生徒、保護者の「思いや願い」を受け止め、個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成、見直しを行い、学習指導や生活指導に生かす。
- 新学習指導要領を踏まえた教育課程の充実を図るとともに、キャリア教育の視点に立った12年間の一貫性のある教育を進める。
- 高等部においては、自立と社会参加を実現するための個別の移行支援計画を作成する。卒業後の社会参加・職業自立につながる作業学習、進路指導等の充実・改善と生きる力の育成を図る。



児童生徒の心身の健康の増進と安心安全な学校づくりの推進

- 学校生活における児童生徒の心身の健康を図る保健指導や安全指導を推進する。
- 施設・設備や遊具等の点検・改修などを徹底し、安心・安全な学習環境を整備する。
- 大災害等を想定し、防災マニュアルの見直し、改善を図り、実践的な引き取り訓練や避難訓練等を実施する。
- 福祉避難所として、毛呂山町・町内会と連携する。また、校内の安全管理体制の再点検を行い、緊急時の手順・情報伝達体制、役割分担等を明確にし、復旧・支援体制を整備する。



特別支援教育を担う教員として専門性を高める研究・研修の充実

- 小学部、中学部、高等部の研究を礎として、教育課程を工夫・改善し、指導内容、指導方法をより一層充実する。
- 自閉症、知的障害、重複障害等に対して、外部専門家の導入や障害の特性に応じた自立活動等の指導内容・指導方法の工夫・充実を図る。
- 児童生徒の実態を把握し、適切な個別課題の設定と指導評価を実施する。
- 公開講座、校長会専門研修会、センター研修、先進校視察等の参加をとおり、専門性の向上を図る。
- 校内での授業研究の方法を工夫し、研修の活性化を図る。



コミュニティスクールとしての保護者や地域との積極的な連携と特別支援教育のセンター的機能の推進

- 保護者や地域に対し、本校の教育活動について情報発信を積極的に行うとともに、学校運営協議会を活用し、教育力の向上を図る。
- 小学校や中学校等との交流及び共同学習や支援学習を推進する。
- 学区教育委員会連絡協議会を核として、地域の小中学校等と連携を図る。また支援部・コーディネーターを中心として、校内・校外の支援を推進し、特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。
- 学校支援ボランティア養成講座を充実し、支援ボランティアの育成・充実・活用を図る。



進路支援

- 各関係機関との移行支援会議を起点とした卒業後の就労や生活のアフターケア
- 施設(作業所)、相談支援センター、福祉課、就労支援センター、ハローワーク、企業等との情報交換及び連携による進路支援

福祉との連携・協力

- 医療機関(Dr, ST, OT, PT)、市町各福祉課、相談支援センター、保健センターとの連携・協力

PTA 活動

- 地域との交流を促進
- 夏祭り運営、開催

ネットワークの構築

- 学区教育委員会 連絡協議会
- 学区幼保小中高との充実した連携

ボランティア育成

- 学区社会福祉協議会との連携
- ボランティアの養成と活用

保護者・地域から信頼される、開かれた学校づくりの推進

3 主な年間行事

	年間行事	進路計画
1 学 期	始業式 入学式 避難訓練 修学旅行(高3) 家庭訪問・個別面談 運動会集会 運動会 社会体験学習 学校公開 川角小交流会 授業参観 校内宿泊学習(小3) 終業式	進路希望調査(高2・3) 進路・前期現場実習説明会(高) 前期現場実習(高) 行政・相談支援による保護者説明会 校内実習(中) 進路学習会(小・中) 職場見学(高1) 個別進路面談(高2・3) もろとく進路フェア 求職登録・就労支援センター面談(高3) 夏休み現場実習(高3) 作業所見学
	始業式 学校公開 校外宿泊学習 修学旅行(小6・中3) 川角小交流会 交通安全教室 社会体験学習 ゆずの木まつり(文化祭) 土曜授業参観・緊急時引き取り訓練 マラソン大会(中) 高等部入学選考説明会・事前相談 就学転学に係る相談会 武蔵越生高校交流会 終業式	進路希望調査(高2・3) 作業所向け学校公開 校内実習・後期現場実習説明会(高) 後期現場実習(高2・3) 後期校内実習(高1) 親子施設見学会(高1) 個別進路面談(高2・3) 重度判定(高3)
	始業式 給食集会 高等部入学選考 社会体験学習 授業参観 走歩大会(高) 入学・転学説明会 卒業式 修了式	進路学習セミナー(全校) 職場見学(中) 移行支援会議(高3) 個別進路面談(高1) 進路学習(ようこそ先輩) 進路希望調査(高1・2) 企業見学(高) 作業所見学

4 日課の概要

校時	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:30	1	日常生活の指導 (着替え・係活動等)			
10:10	体育・音楽				
10:15	移動・休憩				
11:00	2	各教科 生活単元学習 作業学習 総合的な学習(探究)の時間等			
11:10	移動・休憩				
11:55	3	各教科 生活単元学習 作業学習 総合的な学習(探究)の時間等			
12:00	移動・休憩				
13:15	4	日常生活の指導 (給食)			
14:00	5	各教科 生活単元学習 作業学習 総合的な学習(探究)の時間等			
14:40	6	日常生活の指導 (着替え等)			
	下校時間 月・水・木・金 14時40分 火 15時				

5 児童生徒数

(1) 学部・学年別 児童生徒数

令和7年4月1日現在

小学部	学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
	性別								
	男	女	11	11	5	11	6	13	57
		女	4	1	5	2	3	4	19
		計	15	12	10	13	9	17	76

中学部	学年		1年	2年	3年	合計
	性別					
	男	女	7	10	14	31
		女	6	6	6	18
		計	13	16	20	49

高等部	学年		1年	2年	3年	合計
	性別					
	男	女	14	15	23	52
		女	10	11	4	25
		計	24	26	27	77

(2) 地区別 児童生徒数

学部	地区	毛呂山町	坂戸市	鶴ヶ島市	日高市	越生町	鳩山町	合計
小学部		16	30	20	0	5	5	76
中学部		15	20	11	0	2	1	49
高等部		20	33	17	1	0	6	77
合計		51	83	48	1	7	12	202

6 学校案内図

■東武東上線「坂戸駅」下車(北口)
 川越観光バス(大橋行き)「苦林」下車徒歩1.1km
 ■東武東上線「坂戸駅」乗り換え、または、JR八高線「越生駅」乗り換え
 東武越生線「武州長瀬駅」下車徒歩2.6km

■交通案内
 東武東上線 「坂戸駅」下車
 北口から川越観光バス(大橋行き)「苦林」バス停 下車 徒歩1.1km
 東武東上線 「坂戸駅」または JR八高線「越生駅」乗り換え
 東武越生線 「武州長瀬駅」下車 徒歩2.5km

埼玉県立毛呂山特別支援学校
 〒350-0436
 埼玉県入間郡毛呂山町大字川角1024-1
 電話:049-294-7200 FAX:049-295-7981
 HP:https://moroyo-sh.spec.ed.jp/